

青年部

第2回

経営研修会を開催



講師 山岸正道氏

青年部では、1月25日に千曲市のホテル清風園において山岸税務会計事務所 山岸所長を講師にお招きし、「キャッシュフローからの経営分析」と題して今年度第2回目の研修会を開催しました。

キャッシュフローは、

① 営業活動によるキャッシュフロー

本来の事業によって稼いだお金のことで、プラスの企業ほど事業は順調、マイナスの場合は現金不足で苦しい状態です。この状態が続くと、いずれ資金ショートする可能性があります。

② 投資活動によるキャッシュフロー

固定資産や株・債券などを売却した時のお金のことで、営業活動をするためには設備投資が必要です。固定資産等の売却額が投資分を上回っている場合はプラスになります。

③ 財務活動によるキャッシュフロー

企業がただお金を借入したか、あるいは返済したかで増減し、借入金等が増加するとプラス、返済するとマイナスになります。

の3つを計算して、会社のお金の流れを把握することができます。「何故資金が足りないのか、どうすれば資金を潤沢にすることができるのか」をキャッシュフローから読み取ることができます。問題解決につなげることができます。

山岸所長は、「お金はいくらまで自分のビジョン（未来像）を達成するためのツールである」と話されました。



女性部

大岡支部

女性部活動について

大岡支部女性部は、地域・社会に密着しながら知識教養を高め、活動を充実させたいと部員8名の少人数ではありますが、固いチームワークにて頑張っております。女性部の活動として、毎年恒例の「ひじり三千石まつり」・「ひじり三千石収穫祭」への参加・講習会の開催・視察研修を行っております。



収穫祭の様子

平成26年度の視察研修は「古き良き時代を知る」との思いから、平成15年に国の「登録有形文化財」に指定された、渋温泉で創業二百五十年余りの「歴史の宿・金具屋」さんを訪ねました。松代藩出入りの鍛冶屋から宿屋へ商売替えをした際に、「金具を扱う商売をしていいたのだから屋号は金具屋としなさい。」と松代藩主に命名されたそうです。昭和11年に完成した金具屋の一部である木造4階建て「斉月楼」と、「130畳の



大岡美人衆

女性部長 小松みよ子

大広間」は当時では例のない高い建築で、人々を大驚かせたそうです。六代目が各地の建築様式や材料を採り入れ、宮大工の技術の粋を尽くした伝統軸組構造（杉の通し柱13本をたて、釘や金具はほとんど使わず木の組み合わせだけでつくる）の建物、各客室を一軒の家に見立て、廊下を外の風景に見えるようにした遊び心のある細工がされており、古き良き時代を懐かしく楽しませていただきました。

12月には、お正月に向けてフワワーアレンジメント講習会を行いました。3回目となった今回は、アレンジメントのコツが掴めてきた様で、バランスのとれた華やかなお花に仕上がりました。

過疎・高齢化が進む中、人口減に歯止めがかかることを願いながら、充実した活動が送れる様に努力しております。

有料広告掲載のご案内

「商工会報ながの」は年4回発行し、全会員はじめ関係機関等に約2,200部配布しています。

会報への広告掲載を希望される方は、各支所または本所総務指導課へご連絡ください。

1行(12文字)×15行程度のスペースで、1回の発行について5,000円(税込)とさせていただきます。

自社の商品・製品やサービスの紹介、各種売り出し等PRに是非ご活用ください。

覚えておきたい一言

いちぐさ さだむ 「一倉 定 善より」

わが社の赤字は、お客様を忘れたのが原因である。

お客様を無視する会社は、お客様から無視される。

会社の業績が振るわない根本原因は、必ず社長がお客様の要求を無視しているからであり、お客様の要求を無視している限り、何をどのようにやっても会社の業績は絶対によくならない…。